

令和4年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日

施設名称	ふじみ野市立産業文化センター	所管課	文化・スポーツ振興課
指定管理者名	毎日興業株式会社	施設分類	市民文化系施設（集会施設）
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和7年3月31日	利用料金制導入	利用料金制のみ
導入年月日	平成21年4月1日	指定回数	4回
施設設置目的	産業の振興と市民の文化の向上を図る施設		
施設概要	【開設】平成5年11月1日 【延床面積】1119.9㎡ 【構造】鉄筋コンクリート造 【主な施設】多目的ホール、ギャラリー、会議室3部屋		
管理運営の基本方針	産業の振興と市民の文化の向上を図るため、市民の平等な利用が確保され、地域連携及びまちづくりに貢献する施設を目指す 利用者に安心、安全を提供するとともに、ホスピタリティあふれた快適な施設の提供		
指定管理者の主な業務	ホール、ギャラリー、会議室等の貸し出し、施設及び設備の維持管理、施設並びに付属設備の利用に関する業務 産業の振興と市民文化の向上を図るための自主事業		

評価項目

- 【評価基準】
- 5：目標値以上の結果で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが大きいと評価できる場合
  - 4：目標値以上の結果で評価できる場合（上記「5」以外）、又は業務等が適切で、期待する水準以上であった場合
  - 3：業務等が適切で目標値に達している場合、又は業務等が期待する水準どおりであった場合
  - 2：実施計画に基づく管理運営や事業の実施が目標値又は期待する水準をやや下回る場合
  - 1：業務等が目標値を大きく下回る場合（改善指導が必要）

1 施設の設置目的の達成に関する取組

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか		評価
管理運営状況	コロナ禍における運営姿勢として、検温 消毒 換気を徹底し、三密を避け、施設利用者からの陽性患者を発生させぬよう努力した。利用者の安全を確保しながら、施設の管理運営や自主事業等を実施し、産業の振興と市民の文化の向上に努めた。	4
区分	具体的な取組の状況・実績	
コロナウイルス対策	入口正面に非接触型検温器を設置して、利用者の検温、3月12日まではマスク着用を徹底した。パーテーション、ソーシャルディスタンス、備品消毒、換気などを徹底した。	
館内照明のLED化による節電	LED化された館内照明でちらつきやムラのない明るい照明に生まれ変わり、省エネ化にも貢献した。1年間で14,851kwhの節電を果たした。これは10、11月の2ヶ月分以上の電気量に匹敵する。	
館内の美化	長年の課題であったホール・ギャラリーの壁紙貼替を市が実施した。各会議室の壁、廊下、扉等については、指定管理者が塗り直しを行い館内の美化に努め、利用者から高い評価を受けている。	

2 指定管理者の健全性

団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか		評価
外部専門家からの指摘事項の概要	売上高、利益ともに順調に推移しており、特に問題はなし。現預金残高が充分にあり、キャッシュフローも問題なし。	4
その他特記事項	収入が新型コロナウイルス感染症の影響を受け計画を下回ったが、指定管理者としての組織体制は安定しており、市民の平等利用が確保されている。	

3 施設の有効活用

施設利用状況	利用区分等	予定（計画・目標） 単位 人	利用実績 単位 人	対前年比	年度目標達成率	評価
	多目的ホール	42,100	15,475	122.4%	36.7%	
	ギャラリー	32,500	11,898	108.8%	36.6%	
	第1会議室	5,300	2,977	121.6%	56.1%	
	第2会議室	7,800	7,499	115.0%	96.1%	
	第3会議室	8,300	6,736	97.9%	81.1%	
	（特記事項） 前年対比では上昇しているが、利用者のコロナ自粛で大規模なイベントが見送られ、ホール・ギャラリーの利用が特に目標値から大きく外れた。					
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及びその理由		
	市指定事業	・施設の利用許可に関する業務 ・施設の管理運営及び付帯設備の維持管理業務 ・文化の振興及び産業の振興に資する事業		追加事業	・ペーパークラフト「自動販売機を作ろう」8月	
	自主事業	・自主事業文化系教室の実施（14教室、614回） ・自主事業健康系教室の実施（17教室、580回） ・フクトピアと共同で夏休み工作教室、貯金箱をつくろう ・フクトピアと共同でふじみ野産業祭りに出店 ・エッグアート8月、シルバーアクセサリー10月 ・フリーマーケット1月		未実施事業		
利用サービス向上の取組	・温水便座トイレを3台増設した。（男性トイレ1台、女性トイレ2台） ・自主事業の案内チラシ、ポスターの整理 ・館内部屋、廊下、扉等の補修・塗装 ・利用者サービスの一環として、ホール・ギャラリーの利用者向けに年度内で10回以上の有料利用があった場合、翌年度4月以降の利用を1回無料にする制度を昨年度に引き続き実施する。 ・ホール及びギャラリー利用時の椅子及び机の利用料金を他の文化施設と同様に無料とし、利用者への負担軽減を図った。					

4

4 利用者評価

区分	内容		評価
利用者の要望把握	(1) 利用者要望把握方法	①利用者アンケート ②受付横の「皆様の声」回収ボックス	
	(2) 調査、会議等の内容	・実施時期 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで。 ・調査方法 施設利用者様に対し、アンケート用紙を配布して実施。 ・調査項目 ①スタッフ対応 ②館内外美観 ③施設の備品 ④販売商品 ⑤近隣施設と比較	
	(3) 調査、会議等の結果	・調査結果（非常に）良いの評価の割合 ①スタッフ対応94% ②館内外美観91% ③施設の備品99% ④販売商品82% ⑤近隣施設と比較86%	
利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価	・スタッフが優しく対応してくれ融通をきかせてもらい 気持ちが良い。 ・決して新しくないが清掃が行き届いていて清潔な感じがする。	4
	(2) 苦情・改善等の要望事項	・受付横にアンケートボックスを設置しているが、苦情・改善等の要望なし。  《対応措置》  なし	

5 事業収支

(単位：円)

	指定管理者収支（令和4年度）				市の収支				評価	
	年度計画額		収支実績額		令和4年度決算		令和3年度決算（前年度）			
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額		
①指定管理 業務事業収支	収入	利用料金	16,398,000	利用料金	13,545,630	歳入	施設使用料		施設使用料	
		事業収入	0	事業収入	0		行政財産使用料	39,551	行政財産使用料	39,858
		指定管理料	5,865,000	指定管理料	5,865,000		国庫支出金		国庫支出金	
		雑入	10,000	雑入	1,981,043		県支出金		県支出金	
		管理運営費への充当	3,000,000	管理運営費への充当	2,044,926		その他	86,715	その他	86,715
		計	25,273,000	計	23,436,599		計	126,266	計	126,573
	支出	人件費	14,728,000	人件費	14,778,032	歳出	修繕料	8,943,000	修繕料	
		消耗品費	375,000	消耗品費	494,944		保険料	9,127	保険料	8,977
		光熱水費	4,510,000	光熱水費	4,150,877		指定管理料	7,833,100	指定管理料	5,893,000
		委託料	2,039,000	委託料	1,723,260		業務委託料	5,984,000	業務委託料	
		賃借料	710,000	賃借料	781,196		土地・建物賃借料		土地・建物賃借料	
		通信費	389,000	通信費	183,339		その他	85,625	その他	49,995
		保険料	25,000	保険料	28,731					
		修繕費	900,000	修繕費	559,907					
		事業費（市指定事業）	60,000	事業費（市指定事業）						
		公租公課	5,000	公租公課	5,007					
		一般管理費（本社経費等）	1,431,000	一般管理費（本社経費等）	1,455,112					
		その他	101,000	その他	54,548					
		計	25,273,000	計	24,214,953		計	22,854,852	計	5,951,972
収支	0		△ 778,354		差引	△ 22,728,586		△ 5,825,399		
②自主事業 収支	自主 事業 収支	収入	12,220,000	収入	7,938,710					
		支出	8,542,000	支出	5,893,784					
		自主事業収支	3,678,000	自主事業収支	2,044,926					
③収支 ※指定管理事業＋自主事業 (①＋②)	収支	3,678,000		1,266,572						
④市への 納付金 ※納付金がある施設のみ	市への 納付金	支出		支出						
⑤最終収支 (③－④)	収支	3,678,000		1,266,572						
⑥新型コロナウイルス 感染拡大防止に係る 過年度指定管理料 (令和3年度分)	(収入) 市からの給付額		85,625		(歳入) 指定管理者からの返還額					
	(支出) 市への返還額				(歳出) 指定管理者への給付額					
分析	人件費比率【人件費／指定管理者事業支出】							61.0%		
	事業収支における経営分析			コロナの影響等により利用料金収入が伸びない中、電気料金の値上げによる影響額として760,000円を補てんするとともに、文化施設としての均衡を図るため椅子と机の料金を無料にした影響額に対して1,208,100円を補てんしたことにより、収支が改善した。（指定管理者収支には雑入に計上）						
	一般管理費が、計画額と実績額で異なる理由									

## 6 管理運営全般

※すべて「適」で「3」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
市との連携	1 市への報告、連絡、相談又は協議が適切に行われたか	適	4
	2 市からの指示等に対し適切な対応が図られたか		
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか	適	
	配置実績 館長1名、副館長1名、受付3名、清掃2名		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	適	
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	適	
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	適	
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
その他	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	適	
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
特記事項	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか	適	
	電気料金が高騰する中、一般照明のLED化及びこまめな節電を行ったことにより、前年実績と比較して電力使用量がマイナス14.7%となり、大幅な省エネ化に貢献した。		

## 7 危機管理体制

※すべて「適」で「3」。1箇所でも「否」の場合は「1」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	4
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		
特記事項	日常巡回及び外周清掃時に隣接するトナリエふじみ野及び公園緑地課と情報を共有しながら、施設・設備等の不具合の発見などに努めた。		

総合評価

【総合評価】 S:極めて優れている/A:優れている/B:やや優れている/C:適正である/D:努力が必要である/E:改善が必要である

評価項目		評価	総合評価		市民文化系施設（集会施設）
総合評価	施設の設置目的の達成	4	A		
	指定管理者の健全性	4			
	施設の有効活用	4			
	利用者評価	4			
	事業収支	4			
	管理運営全般	4			
	危機管理体制	4			

評価理由	<p>計画的に温水便座トイレの設置を進めるとともに、昨年度から実施した一般照明のLED化や全館でのWi-Fi利用、ホール・ギャラリー利用者への割引制度などを行い、利用者へのサービス向上に努めた。          また、コロナ禍における運営姿勢として、検温・消毒・換気を徹底し、利用者の感染予防に努めた。          なお、自主事業については、感染リスクを抑えた事業を精査しながら施設の有効活用を行った。</p>
------	---

取組・改善案等	前年度からの課題・改善事項	実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項
	<p>ステラ・イーストのリニューアルオープンや新たな文化施設の整備工事が進められている中、産業文化センターは建設から30年が経過しており、計画的に施設・設備等の更新を行ってきた。          また、他の文化施設との施設・設備料金等の整合が課題である。</p>	<p>老朽化対策として、ホール及びギャラリー、ホワイエ等の壁紙の張替及び照明卓の更新を実施した。また、令和4年度より備品貸出料金を見直し、他の文化施設との料金の整合に努めた。</p>	<p>令和5年11月には、ステラ・ウェストがオープン予定であり、指定管理者としては、施設の立地上の好条件等を最大限に活かせるよう人間力で特色を出して行きたいとしている。市では空調設備の更新を行うなど老朽化対策等を進めながら指定管理者の運営を後押ししていきたい。</p>

指定管理者自己評価

<p>(1) 評価期間の取組に対する評価</p> <p>①サービス向上に向けての取組</p> <p>産業文化センターの設置理念に基づき、公平・公正にサービスを提供し、市民から信頼される施設作りに取り組んだ。市民のニーズを把握・理解し、暮らしの満足度を高めるため、質の高いサービスの提供や適切な課題の解析を行った。その結果、以下の取り組みを行った。</p> <p>ア 申し込み翌日や当日の緊急利用に対して、自主の教室移動などで利用者様の要望をできるだけ考慮して、対応した。          イ 全館でwi-fi利用ができるようアンテナ中継位置を調整し、利用者の利便性を図った。          ウ ホール・ギャラリーで年度内に10回以上の同一者有料利用があった場合、翌年度以降の利用を1回無料にするサービスを実施した。          エ トイレの便座を3台温水便座に増設した。</p> <p>②業務の効率化に対する取組</p> <p>ホール・ギャラリーの壁紙貼替工事に伴い、ギャラリーの展示用ウォールのワイヤーハンガーを一新して4.75mで作り直し、今まではウレタンスポンジに巻き取っていたものを壁の裏側に引っ掛ける場所を設置し、伸ばしたままキープできるように改良。設置時もローリングタワー上部に設置場所を設け、伸ばしたまま現場に移動できるように工夫。ワイヤーが折れる心配がなくなる。タワー上部で過ごす時間の短縮と作業の効率化で事故発生を減らせる。</p> <p>③その他</p> <p>過半数のトイレを温水温便座に交換済。</p> <p>(2) 管理業務実施上の課題</p> <p>平成5年開館以来、耐用年数超過、経年劣化をしているものが多数あり、施設、設備の維持管理における長期計画を具体的に計画的管理を行う。</p> <p>(3) 次年度以降の取組</p> <p>空調は令和5年度、音響、舞台装置等更新を含めた具体的計画及び実施。          自主事業にチャダンスを追加予定。          アンケートで物販の評価がいまひとつなので、物販の充実を図りたい。</p>
---